

旭公民館だより

発行 令和8年7月
旭公民館
館長 伊吹 公雄
電話 45-5903
FAX 45-5903



祭りの熱気を感じながら、力いっぱいの掛け声体験

7月3日(金)、旭小学校3年生31名が校外学習として北條神社を訪れました。

これは「総合的な学習の時間」で、府中市の有名なものを調べる学習の一環として、素戔鳴(すさの)神社の祇園祭について理解を深めるために行われたものです。

当日は、神社総代の寺延勝さん(東町)から、祇園祭の概要について説明がありました。

祇園祭では、中須・新市・戸手相方の3地区それぞれに神輿が巡行し、中須では東町から亀寿町、旭町、岡谷町、中之町、西之町へと進みます。最後には3地区の神輿が素戔鳴神社に集まり、ぶつかり合う「けんか神輿」が行われることも紹介され、児童たちは興味津々の様子でした。

続いて、北條神社に飾られている古い神輿についての説明があり、重さは約600kg、てっぺんには擬宝珠(ぎぼし)が載っていることなど、細かな部分まで教えてもらい、児童たちは間近で見る神輿の迫力に驚いていました。

さらに、神社副総代の光成康浩さん(東町)が祭りの掛け声を実演し、児童たちも実際に声を出して体験。「大きい声を出すとテンションが上がる」「盛り上がって楽しそう」など、楽しい感想が聞かれました。

最後には、児童たちが神輿の担ぎ棒(かがりぼう)を持ってみる体験も行われました。

「すごく大変だと思った」「初めてやってみて楽しかった」との声が

上がり、祭りへの理解がぐっと深まった様子でした。

今回の授業は、地域に受け継がれてきた伝統の重みと、その中で生きる“今”を感じる貴重な機会となりました。

児童たちは神輿の迫力や掛け声の体験を通して、祭りへのイメージが大きく変わり、地域の文化を未来へつないでいく大切さを実感していました。

この学びは、11月の学習発表会へと続いていきます。

(裏面へ)



担ぎ棒を持ち上げて、祭りの力強さを体で感じる児童たち



“もしも”に備える 力を育む！

旭小4年生・31名
リフレで防災体験学習



避難 TENT を体験！
広さチェックで小さな冒険気分



意外と快適？災害時のベッドをしっかりと体験中

奇しくも、7月6日は8年前の平成30年に「西日本豪雨災害」が発生した日。

府中市でも甚大な被害があり、多くの人が避難を余儀なくされました。今回の学習を通し私たち大人も改めて、日頃の備えと早めの避難の重要性を再認識する機会となりました。

児童たちがどのように学びを深め、発表をしてくれるのか。

11月の発表会が、今からとても楽しみです。

第40回

旭公民館囲碁大会表彰

優勝 豊田千年さん
準優勝 佐野高四さん

おめでとう
ございます



左、佐野高四さん 右、豊田千年さん

第40回旭公民館囲碁大会の表彰式を7月9日（木）に行いました。優勝者は豊田千年さん（広谷町）、準優勝者は佐野高四さん（中須町）でした。おめでとうございます。